

韓国に最も近い、対馬・阿連調査斜坑の坑口＝9日、長崎県対馬市（川瀬裕也撮影）



唐津・壱岐・対馬の現場に行く



突が行われてきた。日韓トンネルのルート案は主に三つ提唱されている。その中で、唐津から壱岐を通り、対馬を抜けて韓国・巨済島に入る「A案」が、現在最も実現性が高いという。A案のルートに従い、取材の足を唐津から壱岐へ向けた。唐津からフェリーで2時間弱、古くから朝鮮との交易の地として栄えた壱岐に到着し

た。一番高い山でも2000型コロナウイルスが流行する台という平坦な土地で、米や野菜、魚、牛など、豊かな生活資源に恵まれた島だ。東海岸に位置する八幡半島と強く結び付いている対馬にとって日韓トンネルはまさに「夢のトンネル」。対馬在住の主婦に話を聞くと、「対馬から韓国に案に行けるようになるし、本土から対馬に来る人も増えるのでは」と期待感を示した。一方で、難しい点もあるようだ。対馬市議会関係者によると、2013年に同市が日韓トンネルの早期建設を政府に求める意見書を議決した際、全国から多くのクレームが寄せられたという。「日韓関係の悪化が原因だろう」と前出関係者は言う。これに対し、同市議会議員の大浦孝司氏は「悪化する日韓関係の中でも、対馬と釜山はうまくやってきた」とした上で、「小さなしがらみに囚われず、未来を見据えて考えたい時、（日韓トンネルで）両国を繋ぐ意味は大きい」と話した。このほか、韓国最大野党「国民の力」の金鍾仁（キム・ジョンニ）非常対策委員長が「日本に比べてはるかに少ない財政負担で、巨大な経済効果が期待できる」と発言するなか、約10兆円の建設資金を両国でどう負担するかなどの問題もある。実現までに越えなければならぬ壁も多い日韓トンネルだが、各所では着々と準備が進む。国際ハイウェイ財団の関係者は「両国を『陸続き』にするには、日韓の負の歴史を乗り越える大きな契機となる」と期待している。

調査斜坑とは、海底トンネルなどを建設する際、地質調査を主目的に海岸近くに試験的に掘られる急勾配のトンネルのこと。現時点の同調査斜坑の長さは540mで、深さは海拔マイナス56mに達す

前進するか「日韓トンネル計画」

韓国・新釜山市長が選挙公約に

福岡空港から西へ車を約2時間走らせると、玄界灘に突き出た佐賀県唐津市の東松浦半島に着く。豊臣秀吉が朝鮮出兵の要所として陣を置いた名護屋城跡から数分の所に、同財団が掘削した日韓トンネルの調査斜坑がある。入り口には日本語とハンゲルで「日韓トンネル唐津調査斜坑」と書かれた看板が掲げられている。第10回「科学の統一」に関する国際会議（ICUS）で、世界的宗教指導者、故文鮮明師が世界中の自由な往来を可能にする「国際ハイウェイ構想の一環として提唱したもの。それに基つき、翌年には国際ハイウェイ財団の前身である「国際ハイウェイ建設事業」が、翌々年には専門家が助言する「日韓トンネル研究」が設立され、調査・研究が進められてきた。唐津から水上ジェット船で約1時間かけ、次なる目的地の対馬に到着した。平坦な壱岐とは対照的に、ごつごつした高い岩山が多く、田園もほ

韓国・ソウルと釜山両市長選挙は共に野党候補が圧勝した。来年の大統領選をうっせいで日韓関係に影響を与えようとして日本でも注目を集めたが、釜山市長選では、特に日本に関わるテーマが話題となった。当選した朴亨俊氏が九州北部と韓国南部をトンネルで結ぶ「日韓トンネル構想」推進を公約として掲げたからだ。二般財団法人国際ハイウェイ財団」が約40年前からトンネル事業を進める佐賀県・唐津、長崎県・壱岐、対馬の現場を取材した。

た。一番高い山でも2000型コロナウイルスが流行する台という平坦な土地で、米や野菜、魚、牛など、豊かな生活資源に恵まれた島だ。東海岸に位置する八幡半島と強く結び付いている対馬にとって日韓トンネルはまさに「夢のトンネル」。対馬在住の主婦に話を聞くと、「対馬から韓国に案に行けるようになるし、本土から対馬に来る人も増えるのでは」と期待感を示した。一方で、難しい点もあるようだ。対馬市議会関係者によると、2013年に同市が日韓トンネルの早期建設を政府に求める意見書を議決した際、全国から多くのクレームが寄せられたという。「日韓関係の悪化が原因だろう」と前出関係者は言う。これに対し、同市議会議員の大浦孝司氏は「悪化する日韓関係の中でも、対馬と釜山はうまくやってきた」とした上で、「小さなしがらみに囚われず、未来を見据えて考えたい時、（日韓トンネルで）両国を繋ぐ意味は大きい」と話した。このほか、韓国最大野党「国民の力」の金鍾仁（キム・ジョンニ）非常対策委員長が「日本に比べてはるかに少ない財政負担で、巨大な経済効果が期待できる」と発言するなか、約10兆円の建設資金を両国でどう負担するかなどの問題もある。実現までに越えなければならぬ壁も多い日韓トンネルだが、各所では着々と準備が進む。国際ハイウェイ財団の関係者は「両国を『陸続き』にするには、日韓の負の歴史を乗り越える大きな契機となる」と期待している。